

私はこう考えます みんなで子育て まち育て



Q.7 「子どもたちの育ちを支える取り組みを強化」とは？



A. タブレットを用意すれば良いというものではないということについては多くの皆さんの共感をいただけたところと思います。
多様な個性を持って生まれてきてくれた子どもたちの心と身体に寄り添うために行政ができることを改めて皆さんと一緒にさがし、特に「心の育ち」を支える桜川ならではの“共育”をめざしたいと思います。
たとえば、学校再編は少人数の良さを再検討して進めるべきと考えます。
裏表紙やウェブサイトもぜひご覧ください。



Q.8 「ここにおいて豊かにらせるまちづくり」とは？



A. 「積極的な企業誘致に向けた PR」「市民のデジタル化のニーズを応援・支援する部署を新設」「桜川市版特区構想の推進」「耕作放棄地や里山・空き家等の資源化」などを柱とした施策を進めます。
東京に近いという地の利を生かし、「仕事」だけでなく、「やりたいこと」とつながれる桜川の魅力を多世代に PR。多様な発信力・推進力をまちづくりに取り込み活かしたいと考えます。



Q.9 60～70 代以上の小規模耕作者への対応・対策は？



A. 桜川市内には、農業について既に多世代にわたる多様な価値観の皆様が活躍しておられます。60 代～70 代の「小規模耕作者」の皆様のもっておられる経験と技はこれからも尊重されるべきです。農業を愛し、情熱を傾ける皆様が世代を超えて交流されることで生まれる桜川の新しい農業のお手伝いをしていきたいと考えます。



Q.10 えのきどさんは、なぜ今年 3 月議会で懲罰を受けたの？



A. 「友部地区産廃不法投棄疑惑」を調査し、未然防止のために、市の担当部署や市議会に審議提案をしましたが。納得いく対応が見られなかったため、県廃棄物対策課や桜川警察署に通報。その活動が実ったかに見えました。しかし、なぜか・・・ 議会の一般質問でとりあげたところ、12 月議会でも 3 月議会でも、市ははぐらかし答弁に終始。しかし私は追求の手をゆるめませんでした。市民の安全を守るためです。そんな中で、唐突に懲罰処分を受けました。全く理由が分かりません。経過詳細は次ページをご覧ください。ウェブサイトもご覧いただければ幸いです。